

科目名		デザイン実習 1C								年度	2024
英語科目名		Design Practice 1C								学期	後期
学科・学年	デザイン科 イラストレーション専攻 1 年次			必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	経 真珠美				教員の実務経験		有	実務経験の職種		イラストレーター	
【科目の目的】											
それぞれの画材、道具の特性を理解し、表現に最適な選択ができる。自身のイラストレーション表現に合った画材、道具の選択ができる。描画表現、イラストレーションテクニックの習得。											
【科目の概要】											
イラストレーション制作実習を通じて、自身が目指す表現に合う画材、道具の選択が出来るよう、様々な画材、道具を体験する。モチーフとなる対象物の特徴を捉え、描き起すテクニックと表現方法を学ぶ。イラストレーターとして必要な制作テクニックと、デザイナーとしても必要なイラストレーションの制作知識を学ぶことを目的と している 。											
【到達目標】											
A モチーフのフォルムと彩光を捉えた基本的な描画表現ができる B 画材や道具の特性を理解し表現に活用することができる C 着彩時に必要な色味の再現と調整が適切にできる											
【授業の注意点】											
学生間・教員と学生のコミュニケーションと制作プロセスを重視する。授業に出席するだけでなく、制作にあたっては 各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は課題提出とブレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。忘れ物厳禁。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう		レベル1 要努力						
到達目標 A	モチーフの存在感を表現 できる。優れた描画表現 ができる		モチーフのフォルムと彩光 を捉えた基本的な描画表現 ができる		基本的な描画表現まで到達していない						
到達目標 B	画材や道具の特性を理解 し活かし表現することが できる		画材や道具の特性を理解し 表現に活用することができ る		画材や道具の特性を理解 できていない						
到達目標 C	色味の再現と調整が優れ 深みを持たせることがで きる		着彩時に必要な色味の再現 と調整が適切にできる		色味の再現と調整がで きない						
【教科書】											
特に使用なし											
【参考資料】											
毎回授業にて資料配布を行う。参考書・参考資料等は授業中に指示をする。											
【成績の評価方法・評価基準】											
課題完成度	80%	提出課題の完成度を評価する									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度、忘れ物によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		デザイン実習 1C				年度	2024
英語表記		Design Practice 1C				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	美オリエンテーション	授業概要説明	1	イラストの役割の解説	イラストレーションの役割を理解する		
			2				
			3				
2	画材の体験と描画技法修得	水彩色鉛筆の特性を知る	1	パターン平面構成	平面構成作品の作成 パターンの配色で表現ができる		
			2	水彩色鉛筆体験	細部の描き込み丁寧な塗りが作品に影響することを理解する		
			3				
3	画材の体験と描画技法修得	水彩色鉛筆の特性を知る	1	モチーフの描画	水彩色鉛筆の特性を活かした描画法を修得する		
			2				
			3				
4	画材の体験と描画技法修得	水彩色鉛筆の特性を知る	1	モチーフの描画	水彩色鉛筆の特性を活かした描画法を修得する		
			2				
			3				
5	画材の体験と描画技法修得	水彩絵具の特性を知る	1	モチーフの描画	水彩絵具と水彩色鉛筆の併用する効果を理解する		
			2				
			3				
6	画材の体験と描画技法修得	水彩絵具の特性を知る	1	モチーフの描画	水彩絵具と水彩色鉛筆の併用する効果を理解する		
			2				
			3				
7	画材の体験と描画技法修得	水彩絵具の特性を知る	1	モチーフの描画	水彩絵具と水彩色鉛筆の併用する効果を理解する		
			2				
			3				
8	画材の体験と描画技法修得	アクリル絵具の特性を知る	1	モチーフの描画	アクリル絵具の特性を活かした描画法を修得する		
			2				
			3				
9	画材の体験と描画技法修得	アクリル絵具の特性を知る	1	モチーフの描画	アクリル絵具の特性を活かした描画法を修得する		
			2				
			3				
10	画材の体験と描画技法修得	アクリル絵具の特性を知る	1	モチーフの描画	アクリル絵具の特性を活かした描画法を修得する		
			2				
			3				
11	イラスト表現技法と画材の選択	コラージュ作品を制作する	1	コラージュ作品制作	材料からインスピレーションを受けることを理解する		
			2				
			3				
12	イラスト表現技法と画材の選択	コラージュ作品を描き起こす	1	コラージュ作品描起し	目指す表現に適する画材を選択し効果を検証する。		
			2				
			3				
13	イラスト表現技法と画材の選択	コラージュ作品を描き起こす	1	コラージュ作品描起し	目指す表現に適する画材を選択し効果を確認する。		
			2				
			3				
14	イラスト表現技法と画材の選択	創作イラストレーション	1	自由制作	画材を選択し独自の表現を研究、修得を目指す。		
			2				
			3				
15	イラスト表現技法と画材の選択	創作イラストレーション	1	自由制作	画材を選択し独自の表現を研究、修得を目指す。		
			2				
			3				
評価方法：1. 提出課題、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							